

静岡県議会議員

田口 章

後援会
だより

お気軽にどうぞ
昼 053-447-3820
夜 053-440-7100

平成 23 年 7 月 8 日

創ろう！元気な浜松 & 静岡県

静岡県議会

6月定例会報告

防災・エネルギー政策を論議

静岡県議会は「6月定例会」を開催中です。・・・とはいうものの、あとは12日(最終日)の本会議を残すのみとなりました。

私の後援会だよりは、月初の発行を基本にしていますが、今月は議会真っ最中でしたので、委員会審査が一段落してからの発行とさせていただきます。今月号は6月議会のトピックスをお伝えします。

1. 代表・一般質問の論戦より

4月の改選後、初の本会議質問となった今議会では、各会派の代表者による代表質問を含め、13人が登壇しました。

主なテーマは、東日本大震災を受けた防災対策やエネルギー政策、「お茶」の安全性などでした。

「民主党・ふじのくに県議団」からは、代表質問に会派会長の野澤義雄議員(浜松市北区)、一般質問に櫻町宏毅議員(富士市)、佐野愛子議員(藤枝市)、小長井由雄議員(静岡市葵区)の4人が登壇しました。



①知事の政治姿勢

川勝知事は任期4年のちょうど折り返し点。後半2年の政治姿勢を問う声に、「現場主義で総合計画の達成に向け取り組む」、「数値目標達成に向けた工程表をつくり、スピード感を持って計画を前倒ししていく」と答弁。

さらに「震災は文明史上の大転換期であり、復興構想会議の提言も取り込んで“ふじのくに”づくりに活かしていきたい」と述べました。

私も「復興構想会議」の提言を読みましたが、防災・減災対策だけでなく、高齢化を踏まえた「コンパクトシティ」化や「地域コミュニティ」を生かすまちづくり、医療と福祉を一体化する「地域包括ケア」など、私たちのまちづくりにも活かせる考え方が記載されていました。

②津波対策

津波対策のベースは被害想定です。津波被害想定は、国の見直しを受けて県として取り組むこととなりますが、6月26日の中央防災会議で出された中間報告で、「被害想定を2段階で設定」、「めったに起きない最大級の津波対応は、現実的ではない」との見解が示されました。

最終的な方針は来春示される見込みですが、「ソフト・ハード」「短期・中長期」に分けた対策が必要となります。

当面、ハード面では、現行の第3次地震被害想定で対策できていないところを先行して整備することとなります(後述の馬込川など)。

ソフト面では、日ごろからの避難場所や避難ルートの確認などの備えを進めていくこととなります。

③浜岡原発

新聞でも取り上げられましたが、再開に向けたハードルは相当高そうです。

知事は「論点をすべて洗い出し 100 点でなければダメ。99 点では再開しない」と言及。

玄海原発再開に向けた佐賀県知事の姿勢を引き合いに、国が安心だといっても、県として安全が確認できなければ再開しないという考え方を示しました。(政府の混乱により佐賀県の対応も変わりそうですが…)

本会議の代表・一般質問の様子は、県議会のサイトで録画映像をご覧になれます。興味あるテーマについて、ぜひご覧になってください。

④エネルギー政策

補正予算で詳しく取り上げますが、県として新エネルギー政策を推進する姿勢を打ち出しています。

県は 23 年 3 月に「新エネルギー等導入倍増プラン」を策定し、10 年後に新エネルギー比率を 10%にする方針を出しています。これをできるだけ前倒しで達成できるように進め、「一極集中」から「分散型・地産地消」を進めるとしています。

2. 補正予算のテーマは「震災対応」と「新エネルギー」

今回の補正予算は、一般会計 24 億 5700 万円、県営住宅や港湾整備事業の特別会計を含めて 25 億 2800 万円となっています。

5 月臨時会での「緊急震災対応」予算 23 億円余に続く第 2 弾という位置づけで、さらなる「震災対応」に加え、将来に向けての「新エネルギー政策」に重点を置いたものとなっています。

◆主な「震災対応」予算

①地震対策(4 億 8650 万円)

<津波対策として 1 億 800 万円>

身近な事業としては「新居高校」と「湖南高校」に屋上避難階段を設置します。

県下全域のソフト対策としては、県防災原子力学術会議に「津波対策分科会」を設置、大規模災害時を想定した「代替交通およびルート」などを検討します。

また、ハード対策として津波監視カメラの整備、港湾施設などの緊急避難階段の整備などを行います。

なお、「馬込川・芳川」の堤防かさ上げ工事を前倒しします。これは既定事業ですが、「地域自主戦略交付金」を活用して前倒しすること。ヒモ付きでない一括交付金を活用して事業の優先順位をあげるということで、地域主権改革の良い点です。

<避難施設整備として 3 億 7850 万円>

「介護施設」、「障がい者施設」、「児童養護施設」、「県立社会福祉施設」など 94 施設に、「非常用自家発電設備」を整備するほか、「道の駅」を防災拠点に使えないか検討します。

②経済対策(1 億 4350 万円)

中小企業の「BCP(事業継続計画)」普及啓発事業の推進シンポジウムを開催します。

BCP 策定は大切ですがなかなか着手できないと

というのが中小企業のホンネです。現在の策定率は約 15%にとどまっています。一過性のイベントにとどまらず、真に後押しできるしくみが必要です。

またシンポジウムでは、被災地の BCP の状況やサプライチェーンを含めた事業復興の事例や手法など、現場の声を聞きたいところです。

雇用対策として 1 億 2800 万円かけて、県と市町を合わせて 51 人の雇用創出事業を行います。

平成 20 年秋の「リーマンショック」を受けて創設された緊急雇用対策事業は、基本的に今年度末で終了します(一部は来年度に継続できます)。

リーマンショック→円高→震災と続く雇用悪化の状況を見ると、国策として事業継続が必要です。

この点について産業委員会で質問し「現場の声として国に伝える」との答弁をもらいましたが、引き続き雇用確保に向けた国の対応を求めていきます。

③被災者支援(3 億 9450 万円)

被災地現地支援として、復興支援のための技術職員派遣を行うほか、夏休み等を想定した高校生のボランティア派遣も検討しています。

また、受入支援として、応急仮設住宅の建設や被災児童生徒への就学援助やこころのケアを行います。また静岡県社会福祉協議会が行う各種被災者支援への費用助成を行います。

◆「新エネルギー導入促進」予算

①太陽光発電(13億5300万円)

<住宅用設備導入支援事業>

住宅に設置する太陽光発電設備に対し、総額12億円の助成を実施します。補助額は1kwあたり3万円で、上限4kw12万円とし、1万件分を予算化します。国の助成制度と同時利用できます。

市町の助成制度との関係では、浜松市、静岡市など市の単独事業で補助制度を行っているところは、同時に利用できます。

一方、湖西市、磐田市など県補助を受けて市の制度を行っているところは、両方の補助は受けられませんので、確認が必要となります。

いずれにしても条件の良いほうを使えばよいので、設置の際の選択枝は広がります。

詳しくは静岡県のホームページをご覧ください。

<県有施設への導入>

エコパや浜松学園(障がい者支援施設)、3つの県立高校など、9カ所の県有施設に太陽光発電施設を設置します。

②研究開発、他(1億5050万円)

耕作放棄地に太陽光発電設備を設置し、温室メロンハウスに電力を供給する実験を、中遠地域で実施します。隣接施設に農業用として電力供給をおこなうもので、今後、ハウス栽培への展開が期待できます。

「小水力発電」のモデル事業として、伊東市の奥野ダムに設備を導入するための設計費を予算化します。小水力発電は日本にあった特性を持っていますので、今後の事業展開が楽しみです。

なお今回の補正予算ではありませんが、当初予算で「温泉発電」の研究という取り組みもあります。

このほか、産学官が連携して行う、新エネルギーを活用した新技術、新製品の研究開発に対する企業向けの事業補助を創設します。

また、新エネルギー関連企業誘致のため首都圏で企業立地セミナーを開催。さらに新エネ・省エネ関連ビジネスの活性化のために、関連商品のビジネスマッチング展示会を開催予定です。

◆補正予算の総括

まだまだ「震災対応」の経済対策や雇用対策が重要な時期ですが、次の時代を見ずえて政策を進めていかなければいけません。

その意味で、今回の補正予算での「新エネルギー」の取り組みは、「静岡県は“新エネ”の先陣を切るゾ」というメッセージを込めたものだと思います。

原子力に象徴されるように、エネルギー政策は国策ではありますが、県の独自性や自然環境を活かしたエネルギー政策を考える時です。

今後進んでくるであろう、新エネルギーをめぐる地域間競争に向けて、市町と歩調をあわせていく必要があります。

一方、現下の経済環境を踏まえた施策は、少し弱いような気がします。イベントやセミナーは“緊急対策”とはいえません。

製造業の業績は震災直後に比べ持ち直しているようですが、裾野の広いものづくり産業へのきめ細かい支援はまだまだ必要です。企業のリスク管理、立地誘導をどう進めるのか・・・、課題山積です。

○“つぶ食”をご存知ですか？

“つぶ食”とは、アワ・ヒエ・キビなどの雑穀を使った伝統食。最近、さまざまな調理法で現代風にアレンジし、スローフードとして見直されています。



北遠地方の新たな地域資源として、「農家レストラン」や今後開業が予定されている「農家民宿」にご注目ください。(詳しくはブログで・・・)

「つぶ食 いしもと」

浜松市天竜区水窪町地頭方 389

053-987-0411

営業時間 12時～14時

完全予約制、多人数の場合はお早めに
(2人程度なら前日でもOKとのこと)



○最近のブログから「モトクロス観戦」(6/27)



昨日(6/26)、天竜川河川敷でおこなわれた「中部モトクロス選手権シリーズ第5戦」を見に行きました。

実は、オフロードバイクは大学生の頃乗っていたくらいで、社会人になってからはオンロードばかりでした。

レース観戦もロード中心でモトクロスは初めてでしたが、モトクロスならではの“泥が飛んでくる”至近距離での観戦はなかなかの迫力でした。

競技はキッズからプロ級まで、それぞれの年齢、力量に合わせて楽しめるようでした。

この選手権シリーズは、中部エリアを転戦し全10レースを戦いますが、静岡では天竜川河川敷の特設コースを使って3回行われるようです。ここは専用コースではないため、主催チーム(焼津市のRED ZONEさん)を中心に、参加者の手弁当でコース運営をしているとのこと。特に大雨の後は、コースの一部が増水で削られて、整備にはたいへんな苦労があるようでした。

その反面、一般的にモトクロス場は山間地にあることが多く、「こんなにアクセスの良いコースはここだけ」と評判は上々のようです。参加者も100人を超えており、ギャラリーも結構いました(県外ナンバーも)。

「バイクのふるさと浜松」の地域資源のひとつとして、うまく活用できないものでしょうかね・・・

【日々の活動はブログをご覧ください】

★おすすめブログ記事①「つぶ食 いしもと でスローフード」(6/19)

前のページに書いた「つぶ食 いしもと」さんのグルメレポート(?)です。

<http://taguchi-hamamatsu.cocolog-nifty.com/blog/2011/06/619-d6bf.html>

★おすすめブログ記事②「職業としての政治」(6/25)

ちょっとカタイ本ですが、私自身の政治姿勢や今の国政を考えさせられました。

<http://taguchi-hamamatsu.cocolog-nifty.com/blog/2011/06/625-8588.html>

★創ろう！元気な浜松＆静岡県

田口章

で検索

6月の活動報告

01(水)～03(金)

岩手県視察

07(火) 航空自衛隊浜松基地視察

09(木) 新人議員県内視察研修会

12(日) 浜松市水防演習

ビーチフットボール東海大会

13(月) 浜松市議会代表質問傍聴

14(火) 会派議員総会

18(土) 教職員組合大会

スズキ労組イベント

19(日) スズキ労連ヤングリーダー研修会

23(木) 本会議(6月定例会開会)

浜松まつり総会

26(日) 入野地区凧揚会総会

28(火) 本会議

29(水) 本会議

30(木) 本会議

7月の活動予定

01(金) 本会議

浜松市制施行100周年式典

05(火) 産業委員会

06(水) 産業委員会

07(木) 自治体トップマネジメントセミナー

08(金) 入野地区自治連会議

11(月) 自動車総連政策コンベンション

12(火) 本会議、会派総会、会派政調会

13(水) 三方原学園訪問

16(土) スズキ友の会総会

19(火)～20(水)

産業委員会県内視察

21(木) スズキ労組セミナー

23(土) 大平台夏まつり

24(日) 浜松西倫理法人会設立式

28(木)～29(金) 自治体財政セミナー

【あとがき】7月1日は浜松市の100回目の誕生日。私も記念式典に参加し、子どもたちの演奏を夜9時過ぎまで楽しませていただきました。次世代につなぐ新たな一歩にむけて、県議の立場ではありますが、浜松の地に足をつけて、できることをしっかりと実践していこうと意を新たにしました。

自動車関連産業は9月までの3ヵ月間、土日勤務(木金休み)となります。電力のピークカットには貢献できますが、社会生活上さまざまな影響が出ており課題もありそうです。しっかりした検証が必要です。